

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差			
学年	第6学年		
年度	国語	算数	合計
令和12年度の目標			
令和11年度の目標			
令和10年度の目標			
令和9年度の目標			
令和8年度の目標	±0	±0	±0
令和7年度の結果	0	1	1
令和6年度の結果	-5	-1	-6
令和5年度の結果	-1.4	-2.8	-4

「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差								
学年	第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
年度	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
令和12年度の目標								
令和11年度の目標								
令和10年度の目標								
令和9年度の目標								
令和8年度の目標	+0.1	+0.1	+0.1	+0.1	+0.1	+0.1	+0.1	+0.1
令和7年度の結果	3.7	5.0	3.6	4.7	0.6	-1.2	2.6	5.5
令和6年度の結果	-1.4	-1.9	-4.3	-3.3	3.4	4.7	-2.8	2.2
令和5年度の結果								

年度 内容	令和7年度	令和8年度	
	成果と課題	目標	目標達成に向けた取組
学校全体	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国語科・説明的文章を軸とした読み解く力の向上を図るための授業研究に取組み、説明的文章の構成・構造を理解する力や文章の要点を捉える力を伸ばすことができた。</li> <li>○学力調査は、国語科・算数科ともに概ね東京都・全国平均正答率を上回っている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○江戸川区学力調査の結果から、国語科・算数科ともに、記述式の活用問題の正答率が低かった。また、A層とD層の差が大きかった。</li> <li>○意識調査においては、「授業で自分の考えを発表する時は、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」に対する肯定的な解答が低くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○説明的文章で読み取った論の展開方法を基に、効果的に自分の考えを表現できる力を身に付けられるようにする。</li> <li>○算数科では、自分の考えを図、言葉、式を用いて考え、表現できる力を身に付けられるようにする。</li> <li>○個別最適な学びと協働的な学びを実践できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○低学年では、「主語」「述語」、「問い」と「答え」を見つかる活動を通して、構造と内容を捉える。</li> <li>○3年生では、読売新聞ワークシート、4年生以上はよむYOMUワークシートを効果的に活用する。</li> <li>○算数科では、全学年において江戸川区算数授業スタンダードを活用して、問題解決型学習を展開し、一人一人が自分の考えをもち、表現できるようにする。</li> <li>○東京ベーシックドリルとアイテム算数を活用し、個別最適な学びを実践する。</li> <li>○算数習熟度学習を効果的に活用したり、計算や九九に課題のある児童に対して個別指導を行ったりすることで基礎・基本の定着を図る。</li> <li>○話型を示すなど、各学年における効果的な対話について、校内研究を通して深める。</li> </ul>
第1学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国語科・説明的文章では、表を活用することで、文章を整理して比較しながら読むことができた。</li> <li>○繰り返し、「問い」「答え」を捉えてきたため、文章の構成・構造を捉えられることができた。</li> <li>○10の合成を繰り返し丁寧に指導したことで、繰り上がり計算の計算に対する苦手意識がなくなってきた。</li> <li>○算数科の文章題において、図を繰り返し活用してきたことで、図のよさを実感することができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えを自分の言葉で伝えることに課題がある。</li> <li>○文章題を図に表すことによさに気付いているが、図から式化することに課題がある児童が4割程度いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えをもつことができるようにする。</li> </ul> <p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文章を読み内容の大体を捉え、自分の考えや思いをもつ。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎基本の定着を図り、文章題に生かす力を身に付ける。</li> </ul>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「問い」と「答え」を見つかる活動を通して、構造と内容を捉えられるようにする。</li> <li>○家庭学習や授業の中で、継続的に音読に取り組む。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○10の合成を確実に理解できるように繰り返し指導する。</li> <li>○文章題で何を問われているかを理解し、自分で立式できるようにする。</li> </ul>
第2学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教科横断的な学習を進めてきた結果、主体的に学習に取り組むことができた。</li> <li>○表を活用して説明的文章の学習を進めてきた結果、文章の要点を捉えることができるようになった。</li> <li>○音読や動作化など低学年の実態にあった活動を取り入れたことで、文章の大きな内容を捉えることができていた。</li> <li>○九九を繰り返し指導してきた結果、全児童が九九を唱えられるようになった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えを自分の言葉で伝えることに課題がある。A層とD層の差が大きいく。</li> <li>○繰り上がりや繰り下がり計算に苦手意識をもつ児童が2割程度いる。引き続き基礎基本の定着を図っていくことが大切である。</li> </ul>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えや思いを文章で表す力を身に付けさせる。</li> <li>○文章を読み、理解する力を養う。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文章から読み取ったことを図や文に表し、自分の考えをまとめる力を養う。</li> <li>○自分の考えを伝え合う力を身に付ける。</li> </ul>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○話型を生かし、定期的に日記や学習の振り返りを書き、能力向上を目指す。</li> <li>○家庭学習や授業の中で、継続的に音読に取り組む。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ノートに図や式を用いて自分の考えが分かりやすくする。</li> <li>○問題把握の場面で考えに表したり、計算の順番を式で表していく。</li> </ul>
第3学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○校内研究を通して、文章の構成、構造理解ができるようになった。</li> <li>○音読を繰り返し丁寧に指導してきたことで、語のまとまりに気を付けて読み、文章の大きな内容を捉えることができていた。</li> <li>○江戸川区学力調査の結果から、国語科では「漢字の読み書き」、算数科では計算の問題の得点率が高かった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国語科では、場面の様子を読み取って選ぶことができていても、その読み取ったことから想定した内容を「書くこと」に課題がある。</li> <li>○江戸川区学力調査の結果から、算数科では、「式による表現」「図形」の得点率が低かった。</li> </ul>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文章構成を理解して、読み取ることができる。</li> <li>○順序に気を付けて、文章を書くことができる。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○図、式、言葉で自分の考えを表現できるようになる。</li> <li>○文章題を正しく理解して立式できるようにする。</li> </ul>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「はじめ、中、終わり」「問いとこたえ」を意識して、説明文を読み取れるようにする。</li> <li>○学習感想や、連絡帳の一行日記を書くことで、文を書く習慣づけをする。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えをペアヤトリオで伝え合う時間を設ける。</li> <li>○朝学習で計算ドリル問題に取り組む。</li> </ul>
第4学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○校内研究を通して、文章の組み立てを理解したことで、かくことの学習に生かすことができた。</li> <li>○対話を繰り返し取り入れてきたことで話し合いが定着し、自分の考えを伝えることができるようになった。</li> <li>○江戸川区学力調査の結果から、国語科の「説明的文章」の得点率が高く、全国平均を大きく上回った。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えをもつことができない児童が2割程度いる。できていない児童への支援に課題が残る。</li> <li>○江戸川区学力調査の結果から、「表やグラフの用い方」の得点率が平均正答率を下回っていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えを表現する力を身に付けられるようにする。</li> </ul> <p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文章から大事なことを読み取り、問いと答えを結び付けられるようにする。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○計算問題を正しく解けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一行に日記を実施し、自分の考えや思いを書くことを習慣化させる。</li> </ul> <p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○よむYOMUタイムを有効活用し、文章を正しく理解したり、原因と結果、意見と根拠などの関係を読めるようにしたりする。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○朝学習の時間に100マス計算を実施する。</li> <li>○問題を解いた後の見直しの習慣を徹底させる。</li> </ul>
第5学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○校内研究の手立ての1つとして、文章を五七五でまとめる活動を継続してきた。その結果、文章の要点を捉えることができるようになった。</li> <li>○設問を正確に捉えることができるようになり、自力で表現できる児童が増えた。</li> <li>○江戸川区学力調査の国語科では、全国平均を上回った。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文章の重要語句を捉えられるようになったが、文章化する要約に課題が残る。</li> <li>○江戸川区学力調査の結果から、A層とD層の差が大きかった。個別最適な学習を引き続き効果的に取り入れていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えをもち、他者に自分の考えを伝えたり、比較したりするを身につける。</li> </ul> <p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文章の要旨を捉え、簡単に要約することができるようにする。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えをもち、他者の考えと比較し、多様な考えに気付くことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話型を提示し、自分たちで対話的な活動を進められるようにする。</li> </ul> <p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○五・七・五でまとめる活動を行う。朝の読書時間やよむYOMUワークシートを活用して、多様な文章に触れる機会を設ける。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ペアヤトリオでのグループ活動を積極的に取る。</li> <li>○朝学習で、東京ベーシックドリルを活用して、苦手箇所を克服することができるようにする。</li> </ul>
第6学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○校内研究を通して、説明文の構成理解や構造理解が捉えられることができた。</li> <li>○江戸川区学力調査では、説明的文章、文学的文章ともに全国平均を大きく上回った。</li> <li>○全国学力・学習状況調査では、国語科の「読むこと」と算数科の「変化と関係」「データの活用」において得点率が高かった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全国学力・学習状況調査では、国語科の「書くこと」に正答率が低く、読書への関心が低いことが分かった。</li> <li>○江戸川区学力調査では、国語科の「漢字の成り立ち」と算数科の「対称な図形」の得点率が全国平均を下回っていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えを友達と共有し、共通点や差異点を明確にし、認め合うことができる。</li> </ul> <p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文章の構成を理解し、自分の考えに生かすことができるようにする。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えと他者の考えと比較し、共通点や差異点をもとに自分の考えを広げることができるようにする。</li> </ul>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元ごとに構成表を作成し、文章全体の構造を視覚的に分かりやすくする。</li> </ul> <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○考えを共有する前に、自分の考えをしっかりともち、図、式、言葉を使って説明することができるようにする。</li> </ul>